



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 12 号

R3.6.15

文責 中西 勉



「あじさい読書週間」と「内田文庫」

昨日、西門近くの側溝の蓋の上を、一匹のカタツムリがゆっくりと這っていました。雨に誘われて、カタツムリは、水やカルシウムを求めてコンクリートの蓋の上にやってきたのでしょうか。しかし、このままでは西門を出入りする車にひかれてしまわないかと心配になり、カタツムリをそっとアジサイの葉の上に避難させました。すると、右の写真のような、この季節にぴったりの素敵な光景になりました。



さて、今週から、図書委員会の企画で、「あじさい読書週間」（6月29日まで）が始まりました。図書室の入口には、左の写真のような「あじさい読書週間」のきれいな掲示がなされ、子供たちを図書室へといざなっています。読書週間初日の昨日は、本を読もうと休み時間に図書室へ集まってくる子供たちの姿が多く見られました。

本校の図書室には、右の写真に見える「内田文庫」というコーナーがあります。これは、大平西町にお住まいで本校の卒業生でいらっしゃる内田様が、毎年、本校の子供たちに寄贈してくださっている図書を集めたコーナーです。内田様は、「男川小の子供たちが、より本に親しむことができるように、少しでも役に立てれば」というお気持ちで、20年以上の長きに渡って、本の寄贈を続けてくださっています。今年も先週6月11日（金）に、内田様から本を寄贈していただきました。内田様が寄贈してくださった本のお陰で、男川っ子の心が豊かに醸成されており、感謝の気持ちでいっぱいです。



「あじさい読書週間」をきっかけに、「内田文庫」を始めとする多くの本に子供たちが自ら親しみ、読書の楽しさを味わいながら感性を磨き、想像力を高めていけるよう、指導を重ねたいと思います。



▲先週6月11日（金）に、校長室で行われた「内田文庫贈呈式」



▲休み時間が始まるとすぐ、本を読もうと図書室へ集まってきた子供たち



▲バーコードによる図書貸出システムを使って本の貸し出しをする図書委員